日

分

(宛先)板橋区教育委員会 提出日: 年 月

申立者(保護者)氏名	電話	
住所		

あいキッズ利用登録・申請にあたり、下記の内容に相違ないことを申し立てます。

□ 1	就労内定者の場合	(内定証明書の添付が必要です。
шι.	、双カ内正有の場合	『(内定証明書の添付が必要です』

		れないため、就労証明書				状況を	申し立	てま	す。						
なお、あいキ	ッズ利月	用開始月の月末までに、	就労証明	書を提出します	۲.										
就労先等					雇用期	期間		1	年	月	日	から	年	月	日
の名称															
就労先等											忧労先等				
の住所											の電話				
就労日数	月	日又は週	П		月	火 水	木	金	+	В	時		分から	時	分
がりロ奴	7	口入16週	П	就労時間	7,	人	/ \	217		Н	H-ij		71 73 -53	H-1]	/1
通勤時間	片道	時間	分	がりカルチョ	月	火 水	木	金	+	В	時		分から	時	分
四到时间	刀坦	h4.11	71		ζ	人,小	/	317		ц	μη		71 73 75	н-д	71
口 2 疾症(の埋合	(5A NG + 11 18 N +		_ ~											
11ノ 特価(沙莲亭	(診断車の沃付が必要で	क इं	可 登行日上り	3 か 目 じ に	ग)									

□ 2	疾病の場合	(診断書の添付が必要です。	蛋1.可.	発行日より3か日以内.)
-----	-------	---------------	-------	-------------	---

绢	病名					病院名							
症状	犬・状態												
_ <i>Z</i>	入院(1か	月以上の入院	を必要とする。)			入院期間		年	月	日から	年	月	日
口道	通院(1月	こつき12日以	 上の通院を1か月以	上必要とす	する。)	通院期間		年	月	日から	 年	月	日
	通院日		日又は週	B	通院時間	月火力	< オ	金土	В	時	分から	時	分
	週院場所 の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	片道	時間	分		月火力	〈 オ	金土	日	時	分から	時	分
□ É	自宅療養		臥床、精神性疾患又に 療養を必要とする。	は感染性疾	患により、)	療養期間		年	月	日から	年	月	日

□ 3. 心身障がいの場合 (手帳の写しの添付が必要です)	。手帳の写しが無い場合は、	診断書等を添付してください。
-------------------------------	---------------	----------------

□ 手帳あり	身体障害者手帳	級	・愛の手帳	度	• 精神障害者保健福祉手帳	級
□ 手帳なし	障がいの程度 (

□ 4. 看護・介護の場合 (①看護・介護対象者の診断書、②手帳の写し、③介護保険被保険者証の写し ①~③のいずれかの添付が必要です。)

	麦·介護 2者氏名					-	申立者との終	売柄		
	名又は 状等							•		
	居(1か月じ	L上居宅内	において、常時看護	又は介護を	行っている。)				
□ 另	居(1月につ	き12日以	上、居宅外で、看護ス	又は介護を	行っている。)				
	看護・介護の 日数	月	日又は週	日	看護·介護	月火水木金土日	時	分から	時	分
	看護・介護場所 までの所要時間	片道	時間	分	の時間	月火水木金土日	時	分から	時	分

□ 5. **就学又は技術習得の場合**(①在学証明書、②入学許可証の写し ①~②のいずれか1つと時間割表等の添付が必要です。)

□ あいキッズ利用時点での時間割表等を添付します。 □ 現在の時間割表等を添付します。あいキッズ利用時点での時間割表等は、後日改めて提出します。

学校名 就学期間 月 日から 年 月 日 所在地 電話 分

就学日数 日又は週 月火水木金土日 時 分から 時 就学時間 通学時間 片道 時間 分から 月火水木金土日 時 時

□ 6. PTA活動又は町会・自治会活動等の場合

所属名称					活動内容										
活動日数	月	日又は週	В	居宅外での	月 火 水	木	金	土	日	時	分	から	В	寺	分
活動場所までの 所要時間	片道	時間	分	活動時間	月 火 水	木	金	±	B	時	分	から	В	寺	分

申立者が上記のとおり活動していることを証明いたします。 代表者 役職·氏名

□ 7. その他の場合

保護を必要 とする理由																			
保護を必要とする期間	年	月	日から	年	月	日	保護を必要	月	火	水	木	金	±	日	時	分かり	ò	時	分
とする期間	+	Л	6.00	+	л	н	とする時間	月	火	水	木	金	±	日	時	分かり	ò	時	分
備考																			

申 立 書

記入例 (宛先)板橋区教育委員会 提出日: 令和7 年 12月27日

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
申立者(保護者)氏名	•• ••	電話	00-0000-0000
住所	東京都 板橋区 板橋 △△-△-△		
	ェックをしてください。 ・由請にあたり 下記の内容に相違ないことを申し立てます。		

住所		東京都	『 板橋区	板橋	§ △∠	$\triangle - \triangle - \triangle$										
該当する項					学に相	違ないことを申	し立てます。									
☑ 1. 就労																
						て下記のとおり 引書を提出しまっ		を申し立て	ます。							
就労先等 の名称	(株)		機				雇用期間	令和8	3 年	4 .	月 1	日から	· 令和 9 4	≢ 3	月	3 1 E
就労先等 の住所	東京都	邹 板橋[区 板橋	ΔΔ-	- 🛆 🗸	$\triangle - \triangle$					就労先等 の電話	(00-00	000	-00	000
就労日数	月	日又	は週	5	日	就労時間	月火	水木鱼	±	B	9	時 3	0 分から	1 7	7 時	005
通勤時間	片道	1	時間	0 0	分	がりかけり	月火	水木鱼	È (±)	日	9	時 3	0 分から	1 4	4 時	005
☑ 2. 疾病	の場合	(診断書の	添付が必要	更です。	写し	可。発行日より	3か月以内。)									
病名	うつ病	į		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	74 A L	3 ^ 1 1 X + 12 - 1	病院名		● クリ	ニック	1					
症状•状態	うつ状	態				易合は、希望す ∃以上の通院か)時間帯に、	`							
□ 入院(1か	月以上の	入院を必	要とする。)			入院期間]	´ 年 		月 	日から	, <u> </u>	 	月	E
☑ 通院(1月	につき12	2日以上の	通院を1点	小月以.	上必到	要とする。)	通院期間	令和3	3 年	5	月 1	日から	, 4	Ŧ	月	E
通院日		1 2	日又は週			日 通院時間	月火	(水)木(金	金)±	日	1 6	時 ()	0 分から	17	7 時	005
特油性	片道		時間 けんしん			分 月12日未満 ¹		* 水 木 st 字唇巻にチ			てくださ	 +	分から) 	·	5.
C E - MA			を必要とす			万丨乙口小洲	(6)1116.	でが良にア	<u> </u>				, <u>f</u>	Ę	月	E
☑ 3. 心身	障がいの	D場合 (手帳の写し			要です。手帳の				付して		い。)				
☑ 手帳あり	身体障害	書者手帳	級		の手		・精神障害者			7 (級		< - **			
□ 手帳なし	障がいの	2程度 (手帳の種類に					VOC.	くだざい。			
						—— 利用要件	は案内冊子P	. 6を参照	だして <	、たさ	٠١٥.		<u> </u>			
	·介護の	場合(①	看護・介	護対象	者の診	—— 利用要件					①~③ <i>0</i>				ナ。)	
看護·介護 対象者氏名	・介護の ● ●	場合 (① ● ● ●	看護・介	護対象	者の診	(①~③ <i>0</i>	Dいずれ 立者との			f 。)	
看護・介護 対象者氏名 病名又は 症状等	● ● 車椅 ⁻	● ● ● 子で生活	全般のグ)護が	必要	诊断書、②手帳の	の写し、③介護	保険被保険場合は、ネ	者証の写	写し の	①~③の申ュ	注者との 時間帯に	続柄 昼		ታ。)	
看護・介護 対象者氏名 病名又は 症状等	● ● 車椅 ⁻ 月以上居	●●● 子で生活 宅内にお	全般の介いて、常時	ト護が	必要なか	診断書、②手帳の ・ ・ ・ 護を行っている	75L、3介護 別居の 月12	保険被保険	者証の写	写し の	①~③の申ュ	注者との 時間帯に	続柄 昼		f。)	
看護・介護 対象者氏名 病名又は 症状等 □ 同居(1か ☑ 別居(1月	● ● 車椅 ⁻ 月以上居 につき12	●●● 子で生活 宅内にお 2日以上、	全般のがいて、常時居宅外で、	ト護が 看護ス 看護ス	必要なか	護を行っている。	の写し、③介護 別居の 月12 3。)	保険被保険場合は、ネロ以上介語	者証の ² 希望する 養してい	写し る利用 いる状	①~③の 申望	時間帯は要です。	続柄	<u></u>		0.0.4
看護・介護 対象者氏名 病名又は 症状等 □ 同居(1か ☑ 別居(1月 看護・介徴 看護・介護	● ● 車椅- 月以上居 につき12 獲の 月 場所 はば	●●● 子で生活 宅内にお 2日以上、 16	全般のがいて、常時に いて、常時 居宅外で、 日又は週	入護が 持看護ス 看護ス	必要 又は介 又は介	・ ②手帳の・ 注ぎを行っている	か写し、③介護 別居の 月12 る。) 関	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木(全	者証の写	写し る利用 いる状	①~③の 申望	立者との 時間帯に 要です。 時 0	(3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	. 1 7	7 時	00%
看護・介護対象者氏名 病名又は症状等 □ 同居(1か) 別居(1月) 看護・介護 看護・介護までの所要	● ● 車椅- 月以上居 につき12 獲の 月 場所 片道	●●● 子で生活 宅内にお 日以上、 16	全般のが いて、常時 居宅外で、 日又は週 時間	下護が 括電数 看護3 4	必要 又は介 又は介	護を行っている 護を行っている 日 看護・介記 の時間	か写し、③介護 別居の 月12 5。) 月 火 月 火	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 気	者証の事 等望する 養してい 金 土	写し る利用 いる状 日	①~③00 申立 I区分のI 況が必 1 6	時間帯に要です。時の時	続柄 日の 分から	· 17	7 時	5
看護・介護対象者氏名 病名又は症状等 □ 同居(1か) 別居(1月) 看護・介護 看護・介護までの所要	●● 車椅- 月以上居 につき12 護の 月 場所間 片道 又は技術	●●● 子で生活 宅内にお 16 指習得の	全般のが いて、常時 居宅外で、 日又は週 時間	ト護が 持看護3 看護3 4 企学証	必要 又は介 5 E明書	護を行っている護を行っている 看護・介計の時間 ②入学許可証	か写し、③介護 別居の 月12 5。) 月 火 月 火	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 気	者証の事 等望する 養してい 金 土	る利用いるが 日 日 新	①~③00 申立 II区分のII 況が必 1 6	立者との 時間帯に 時です。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	続柄 日の 分から	1 7	7 時 時 // 場合	5
看護・介護対象名氏名 病名又は 症状等 同居(1か) 別居(1月) 看護・介護者 での所要 ② 5. 就学 の 助いキッス 図 現在の時	●● 車椅- 月以上居12 (こつき12 場所間 月 片近 大利用表等	●●● 子で生活 宅内にお 16 値 お習得の 気での時間 を添付しま	全般のがいて、常時間に対して、常時間に対している。 はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	ト護が 持看護3 看護3 4 企学証 添付し	必要 又は介 5 野書 ます。	護を行っている護を行っている 看護・介計の時間 ②入学許可証	D写し、③介護 別居の 月12 る。) 月 欠 の写し ①~②	保険被保険場合は、君日以上介記が水木(また水・木・またのいずれたのいずれたのめて提出	者証の3 希望する 隻してい 	多利用 日 新は	①~③0 申式 I区分のI 況が必 1 6	立者との時間帯です。 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 割割 時間 割 表間 またい おいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かい	続柄合う分から分から分から分がまだ出で申請し	1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7 時 時 パ場台 ださい	5.
看護・介護 対象名又は 病名又は 同居(1か) 別居(1月) 看護での所所 ジ 5. 就学 の 切ったの時 学校名	●● 車椅- 月以上居 につき12 獲の 月 片道 又は技 行 で利用時に 間割表等	●●● 子で生活 宅内にお 16 16 値 特習得の 気での時間 を添付しま	全般のかいて、常時居宅外で、日又は週時間の場合(①割表等をます。あいます。	下護が 持看護 3 看護 3 4 全学 1 キッズ ネ	必要 又は介 5 野書 ます。	護を行っている 護を行っている 看護・介記 の時間 、②入学許可証 時点での時間割	D写し、③介護 別居の 月12 3。) 月 火 月 火 月 火	保険被保険場合は、君日以上介記が水木(また水・木・またのいずれたのいずれたのめて提出	者証の ³ 希望する 隻してい 金) ±(金) ±(多利用 日 新は	①~③0 申式 I区分のI 況が必 1 6	立者との 時間帯です。 時間帯です。 時 時 割 時間 日 から	続柄 日こ、の 分から分から分から手がまだ出で申請し、令和114	** 1 7 2 1 7 3 1 7 3 1 7	7 時 時 パ場合 ださ 月	3 1 E
看護・介護対象名氏名 病名又は 症状等 同居(1か) 別居(1月) 看護・介護者 での所要 ② 5. 就学 の 助いキッス 図 現在の時	●● 車椅- 月以上居 につき12 獲の 月 片道 又は技 行 で利用時に 間割表等	●●● 子で生活 宅内にお 16 16 値 特習得の 気での時間 を添付しま	全般のがいて、常時間に対して、常時間に対している。 はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	下護が 持看護 3 看護 3 4 全学 1 キッズ ネ	必要 又は介 5 野書 ます。	護を行っている 護を行っている 看護・介記 の時間 、②入学許可証 時点での時間割	D写し、③介護 別居の 月12 る。) 月 欠 の写し ①~②	保険被保険場合は、君日以上介記が水木(また水・木・またのいずれたのいずれたのめて提出	者証の3 希望する 隻してい 	多利用 日 新は	①~③0 申式 I区分のI 況が必 1 6	立者との 時間帯です。 時間帯です。 時 時 割 時間 日 から	続柄合う分から分から分から分がまだ出で申請し	** 1 7 2 1 7 3 1 7 3 1 7	7 時 時 パ場さい 月	3 1 E
看護・介護 対象名又は 病名又は 同居(1か) 別居(1月) 看護での所所 ジ 5. 就学 の 切ったの時 学校名	●● 車椅- 月以上居 につき12 獲の 月 片道 又は技 行 で利用時に 間割表等	●●● 子で生活 宅内にお 1 6 道 「お習得の時間を添付しま」	全般のかいて、常時居宅外で、日又は週時間の場合(①割表等をます。あいます。	下護が 持看護 3 看護 3 4 全学 1 キッズ ネ	必要 又は介 5 野書 ます。	護を行っている 護を行っている 看護・介記 の時間 、②入学許可証 時点での時間割	D写し、③介護 別居の る。) 月12 る。) 月 火 月 火 の写し ①~② 表等は、後日 就学期間	保険被保険場合は、君日以上介記が水木(また水・木・またのいずれたのいずれたのめて提出	者証の ¹ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	多利用 日 新は	①~③の 申式 IE分のI :況が必 1 6 しい時間 、現在の 用 1 電話	立者との 時間帯です。 時 制制時間 日から	続柄 日こ、の 分から分から分から手がまだ出で申請し、令和114	・ 1 7 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 時 時 い場合 ア 月	3 1 E
看護・介氏名 病名又は 同居(1か) 別居(1月) 別居(1月)	●● 車椅- 月以上居 につき12 護の 月 片近 又は技術 で利用時等 へ	●●● 子で生活 宅内にお 16 16 が習得の はでの時間を添付しま へ大学 都 板橋「	全般のインスで、常時居宅外で、日又は間時間を持ちます。あいるとは、板橋には、地域のは、地域のは、地域のは、地域のは、地域のは、地域のは、地域のは、地域の	ト護が 持看護 3 看護 3 4 ○在学証 添付し キッズ 3	、必 要 又は介 5	護を行っている 護を行っている 日 看護・介部 分 の時間 ②入学許可証 時点での時間書	D写し、③介護 別居の る。) 月12 る。) 月 火 月 火 の写し ①~② 表等は、後日 就学期間	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 3 のいずれが 改めて提出 令和 7	者証の ¹ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	501年 日 日 新は 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	①~③の 申式 IE分のI :況が必 1 6 しい時間 、現在の 用 1 電話	立者との 時間帯です。 時 制制時間 日から	続柄 日こ、の 分から分からがまだ出で申請し・ 令和114	・ 1 7 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 時 時 い場合 ア 月	3 1 E
看護・者名 (1 か が氏 (1 か が) 所 (1 月 が) 所 (1 月 が) 所 (1 月 が) 所 (2) の 現 校 在 中 数 通 学 時 間 ② 6. PTA	● ● 申	●●● 子で生活 宅内にお 1 6 「おるでの時にを添けします。」 「おってのはないます」 「ないます」 「ないます」 「おいます」 「おいますます」 「おいます」 「おいますます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいますます」 「おいますますますます」 「おいますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	全般のインスで、常時日本ので、常年を外で、周日を持ちます。あいます。あり、は間はは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本	ト護が 看護3 4 全学討し キッズ ● ● - 4 4 5	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	断書、②手帳の : : : : : : : : : : : : :	D写し、③介護 別居の 月12 5。) 月 火 の写し ①~② I表等は、後日 就学期間	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 st のいずれが 改めて提出 水 木 st	者証の ² ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の 日 日 新は 4 一 日 日	1 ~ 30 申式 日	立者との 時要 時間帯で の 時 割時 日 から で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で	続柄 日こ、の 分から分からがまだ出で申請しの 分から分から分から	・ 1 7 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 時 い場合 月 一 〇 ()	3 1 E
看護・名名 病症は 同居(1か) 別居(1月) 別居 看護での 別居 看護での 現 中 日 小の所 学 中 明 学 中 明 学 中 間 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明 明 中 明	● ● 申	●●● 子で生活 宅内にお 1 6 「おるでの時にを添けします。」 「おってのはないます」 「ないます」 「ないます」 「おいます」 「おいますます」 「おいます」 「おいますます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいますます」 「おいますますますます」 「おいますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	全般のがいて、常時居宅外で、常日又は間の場合(できます。あいません) をは 週間 をまます。 板橋 は 週間 は は 間	ト護が 看護3 4 全学討し キッズ ● ● - 4 4 5	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	断書、②手帳の : : : : : : : : : : : : :	D写し、③介護 別居の 月12 5。) 月 火 の写し ①~② I表等は、後日 就学期間	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 st のいずれが 改めて提出 水 木 st	者証の ² ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の 日 日 新は 4 一 日 日	1 ~ 30 申式 日	立者との 時要 時間帯で の 時 割時 日 から で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で	続柄 日つ 分から分からがまだ出で申請しつ 令和114つ 分から	・ 1 7 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 時 い場合 月 一 〇 ()	3 1 E
看護名 病症同別看護の (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	● ● 申	●●● 子で生活 宅内にお 1 6 お習得の を添付しま へ	全般のが、常時には、常年のので、常年ので、常年ので、のので、のので、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので	ト護が 「看護」 4 本学付える ● ● - 4 4 5 動等 1	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	断書、②手帳の 護を行っている 程を行っている 看護・介間 分	D写し、③介護 別居の 月12 5。) 月 火 月 火 の写し ①~② I表等は、後日 就学期間	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 st 改めて提出 令和 7 水 木 st	者証の ¹ ・	の 日 日 新は 4 一 日 日	1 ~ 30 申 3 申 3 日 1 6 日 1 1 電話 1 3	立者との時要 時間で 時期時 日 時 時 月 時 日 の の の	続柄 日こ、の 分からがまだ出で申請しの 令和11 4の 分から定例会の 分から	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	7 時 時 い場合 月 一〇 6 時	3 1 E
看護・名名 病症に同りに対している。 一 図 別居看 護での 別居看 護での 別別 看 電ぎの の 現 校 を 日 野 中 明 中 明 中 明 明 学 所 学 学 所 関 学 所 関 学 所 関 学 所 関 学 所 関 学 所 関 学 所 関 図 6. PTA 所属	●● 車格 月につき12 護場所間 は技術 間割表 △ △ 東月 道 又小	●●● 子で生活。 16	全般のが、常時には、常年のので、常年ので、常年ので、のので、のので、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので	ト護が 持看護 3 4 在学付しズ ● ● - 4 4 5 動等	・ 区は介 5 野ま利用 日 分 場の場	断書、②手帳の 護を行っている 護を行っている 看護・介間 分 の時間 ・ ②入学許可証 ・ 持点での時間割 ・ 一 ● 就学時間	D写し、③介護	保険被保険 場合は、ネ 日以上介記 水 木 st 改めて提出 令和 7 水 木 st	者証の ¹ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	写し 利用状 日 日 新は 4 一 日 日 の 日	1 ~ 30 申 3 申 3 日 1 6 日 1 1 電話 1 3	立者との時要 時間で 時期時 日 時 時 月 時 日 の の の	続柄日この分から分から分から分から分から分から分から分から定例会	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	7 時 時 い場合 月 一〇 6 時	3 1 E 000 0 0 5
看対病症 同別 看護の名 (1 か) 月 介氏又等 (1 か) 月 介氏又等 (1 か) 月 看護での 名 状 居居 (1 護 田 小介所 学 ン) あ現 校 在 日 時 時 日 名 田 動 明 ま	● ● 申	●●● 子で内においた。 1 6 首を添大 板 日本 は町会・日本 は町会・日本	全般のが開発して、常年のので、常年ので、週間ので、週間ので、週間のでは、個間のでは、日本ので、週間のでは、日本ので、週間のでは、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので	ト護が 「看護」 4 本学付えず ● 4 4 5 動 2 3 0	必 又 以 ス	断書、②手帳の 護菱を行っている がきを行っている がいる。 がいる。 での時間を がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 でいる。 がいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	D写し、③介護	保険被保険 場合は、ネ 水 木 ま 改めて提出 へ 木 木 ま 水 木 木 ま 水 木 木 ま	者証の事を受しています。また、おは、年、土、土、一、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土	写し 33131313131313131313131313131313131313	1 ~ 30 申 3 申 3 日 1 6 日 1 1 電話 1 3	な 時要時 時 間的時 時 月 時 署書 間で・ 表間 か (0 の の 名)	続柄 日こ、の 分からがまだ出で申請しの 令和11 4の 分から定例会の 分から	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	7 時 場合 いだ 月 〇 時 時	3 1 E 000 0 0 5
看対象とは 「別」 「「別」 「「別」 「「別」 「「別」 「「別」 「「別」 「「別」	● ● 時に変 場際 又利間 ○ 東 月 に変 所間 は用表 △ 京 東 月 道 又小 月 道 こと 日 月 道 こと 日 月 道 こと 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	●●● 全年により 16 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16 を 17 を 17 を	全般のが開発して、常年のので、常年ので、週間ので、週間ので、週間のでは、個間のでは、日本ので、週間のでは、日本ので、週間のでは、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので	ト護が 「看護」 4 本学付えず ● 4 4 5 動 2 3 0	必 又 以 ス	断書、②手帳の 護菱を行っている がきを行っている がいる。 がいる。 での時間を がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 でいる。 がいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	D写し、③介護	保険被保険 場合は、ネ 水 木 ま 改めて提出 へ 木 木 ま 水 木 木 ま 水 木 木 ま	者証の事を受しています。また、おは、年、土、土、一、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土	写し 33131313131313131313131313131313131313	①~③の 申取 日区分のの 日 1 6 日 1 電話 日 1 3	な 時要時 時 間的時 時 月 時 署書 間で・ 表間 か (0 の の 名)	続柄 日こ、の 分からがまだ出で申請しの 令和11 4の 分から定例会の 分から	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	7 時 場合 いだ 月 〇 時 時	3 1 E 000 0 0 5

	保護を必要 とする理由																
	保護を必要 とする期間	年	月	日から	年	月	日	保護を必要とする時間	月 火	水	木	金	土日	時	分から	時	分
			л						月 火	水	木	金	土 日	時	分から	時	分
	備考										·						